

地福 00565 号
平成 28 年 3 月 29 日

県内介護福祉士実務者養成施設の長 様

神奈川県保健福祉局福祉部地域福祉課長
(公印省略)

介護福祉士実務者養成施設における実務者研修通信課程の
実施内容について(通知)

本県の保健福祉行政の推進につきましては、日頃格別の御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、介護福祉士実務者養成施設の指定・監督事務については、平成 27 年度より厚生労働省から移管され、県内の養成施設に関しては本県において行っておりますが、通信課程の研修実施内容が不十分である養成施設が散見しております。

各養成施設におかれましては、次の点についてあらためて確認していただき見直しを行う等、研修課程の適切な実施に努めてください。

1 通信課程における通信学習課題について

実務者研修の通信学習が認められている科目の合計時間数は 405 時間です。

通信課程であっても、実務者研修として規定されている各科目について規定時間学習することには変わりはありません。自宅においてその時間数相当の学習をすることを条件に通信課程が認められているものです。

また、実務者研修は、介護福祉士養成施設の卒業者も介護福祉士国家試験が義務付けられることになり、実務経験ルート为国家試験受験者に対しても介護福祉士養成施設卒業者と同程度の知識・技術の修得を求めなければならないことから、実務経験ルート为国家試験受験者に修了が義務付けられた研修です。

よって、各養成施設においては、各科目の規定時間数相当の学習内容であって実務者研修として求められるレベルの学習を自宅で自己学習できるような通信学習課題を用意することが当然求められますが、到底相当する内容とは思えないような学習課題によって実施している養成施設が散見されました。中には介護職員初任者研修のレベル以下のものもありました。

テキスト会社が配布している通信学習課題はあくまで参考として配られているものです。指定養成施設の責任において、その内容が十分であるか否か見直しを行い、適切な通信学習課題を受講生に配布してください。

また、平成 24 年 3 月 27 日付厚労省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室発出の事務連絡「実務者養成施設の介護過程等の教育内容における留意点について」において、科目内容により紙上演習等取り入れるよう示しています。出題方法等も科目内容に沿ったもので行ってください。

(著しく課題内容が少なかった例)

こころとからだのしくみ 60 時間の通信学習課題として、5 者択一問題が 10 問しかなかった。

こころとからだのしくみ 60 時間の通信学習課題として、記述・単語を列挙する問題・穴埋め・×問題等、出題方法は種類があるが、全部合わせて 9 問しかなく、1 問の内容が非常に少ないものもあった。

介護過程 20 時間の通信学習課題として、5 者択一問題が 4 問しかなかった。

(紙上演習等を取り入れる見直しをしたほうが良い例)

コミュニケーション技術、生活支援技術・、介護過程 において、5 者択一問題しかない。

2 介護過程 の研修内容について

国事務連絡「実務者養成施設の介護過程等の教育内容における留意点について」において、「介護過程」では次の 3 つについて行うことになっています。

介護過程の展開

介護技術の評価

知識等の習得度の評価

「介護技術の評価」について、実務者研修修了者は介護福祉士国家試験の実技試験が免除になるのは、介護過程 において「介護技術の評価」を行っているからです。実技試験にかわる評価ですので、適切に必要な備品を配備し、評価する技術項目についても適切に行ってください。

また、「知識等の習得度の評価」については、国事務連絡において「実務者養成施設の全ての科目の教育内容について、知識等の習得度を評価する」となっています。介護過程 だけの内容ではありません。

3 通信学習の添削指導について

通信学習は、受講者本人が通信学習課題を提出しただけではその科目内容

を学習できたことにはなりません。通信指導・添削指導を受け、修得できていなかった箇所等を自ら確認しあらためて修得するまでが通信学習の内容です。添削指導の結果を、研修の最後にまとめて受講者に返していた養成施設がありました。これでは、スクーリングまでに適切な知識等の習得ができません。通信指導・添削指導は計画的に適切な時期に行ってください。

4 通信学習のスケジュールとスクーリング科目の実施時期について

介護過程 については、その内容から通信学習科目の学習が概ね修了した時期でないとスクーリングを実施できないと考えられます。（前記2の知識の習得度の評価の関係もあります。）

また、医療的ケア（演習）については、医療的ケア 50 時間の通信学習修了後（添削指導を行い科目履修を認めた後）でなければ実施できないはずです。

但し、そのようなことを全く考えずにスクーリングの日程を設定している養成施設がありました。

また、通信課題の提出スケジュールについては、各科目の規定時間数相当の自宅学習を計画的に且つ効果的に学習できるようなスケジュールを受講生に示す必要がありますが、時間数を全く考えていないスケジュール（毎日4～6時間勉強しないと出来ないようなものなど）を提示している養成施設がありました。通信課程は、基本的に仕事を持ちながら受講する方たちも受講できるよう配慮する必要があります。

貴施設の学習スケジュールについて、上記の点に問題がないかあらためて確認をしていただき、適切な対応をお願いします。

問い合わせ先

福祉介護人材グループ 川田

電話 045-210-4755